

県民の怒りが知事を辞職に追いこむ

「談合を指示」の疑惑深まる

「全く知らない」——知事の弁明に不信

木村良樹知事は2日、官製談合事件で県政を混乱させたとして、辞職を発表しました。9月の知事室捜索以来、県庁には県民の怒りのメールや電話、ファックスが殺到し、そうした県民の怒りを背にした議会の強い姿勢もあって、辞職に追いこまれました。しかし、談合容疑で起訴された水谷聡明被告がトンネル工事以外の下水道工事でも談合していたことや「知事から談合の指示を受けていた」との報道もあるなど、全容の究明はこれからです。

ゼネコン2社から1億2千万円 工事受注のお礼に渡っていた

談合の疑いで水谷出納長らが逮捕された工事は、前回知事選直後の、04年11月10日に入札がおこなわれた2件のトンネル工事と那賀の下水道工事。

大手ゼネコン大林組の顧問がゼネコンの落札業者を調整し、ゼネコンと組む地元企業を水谷出納長が決めていたとされています。井山容疑者は、和歌山県内の公共工事に影響力を發揮していたことから、工事を落札したハザマからは5900万円、大林からは6000万円が渡されました。

井山容疑者との関係について木村知事は、「大阪府の総務部長が副知事の時に知り合い、和歌山の情勢を教えてもらったが、金はもらったことはない」と語っていますが、7月に世耕弘成参院議員らをまじえて、無料で（その後支払い）ゴルフをしていた事実は、新聞で報道されるまで黙っていました。

04年11月10日に入札のトンネル工事

工事名	落札JV	予定価格	落札価格	落札率
梨の木トンネル	大林・鴻池・東	17億7202万	17億2000万	97.06%
平瀬トンネル	ハザマ・地崎・三友	11億7741万	11億6550万	98.99%
切畑1号トンネル	東急・東亜・初島	11億9536万	11億7880万	98.55%
上の城トンネル2	奥村・大豊・白洋	17億9495万	17億3800万	96.83%
4件の工事の合計		59億3975万	58億0230万	97.69%

予定価格は、事前に公表されています。
トンネル名はいずれも仮称。金額は万円未満切り捨て。

高値落札を一貫して追及



日本共産党県議団はこれまでも、県工事の高値落札を指摘し、入札制度の改善を求めてきました。談合が判明した場合の課徴金の引き上げを要求し、昨年从那それまでの10%から20%に引きあげさせました。

最近でも、県庁南別館（防災センター）の建設、機械設備の入札などで談合の疑いがあり、議会で追及してきました。

不正を許さない県政に転換を



県議会議員
村岡キミ子



県議会議員
藤井健太郎

県民の福祉を次々に後退させておきながら、ゼネコンには談合で県民の税金をつぎ込んでいた木村知事が、県民の大きな怒りの前に、辞職に追いこまれました。日本共産党は、調査権限をもった100条委員会の設置を求めてきましたが、これからも真相究明に全力をつくすとともに、不正を絶対に許さない県政への転換をめざします。



「知事は真相を明らかに!」と呼びかける新日本婦人の会の人たち

県政だより

2006年11月



大阪地検が県出納長らを逮捕・起訴

知事の知人のゴルフ場経営者も

大阪地検は、11月1日、トンネル工事の談合容疑「競売入札妨害」で、水谷聡明県出納長や木村知事の知人でゴルフ場経営の井山義一容疑者、ゼネコンのハザマ常務らを起訴しました。

日本共産党県議団は、事件の真相を解明するため、臨時議会の開会、議会として調査権をもつ地方自治法100条にもとづく特別委員会(100条委員会)の設置を求め、出納長を任命した木村知事の責任を追及しました。



知事室などから書類の入った段ボール箱を運び出す大阪地検の職員(9月20日)

ゼネコン談合で 県民の税金をピンハネ

談合がなければ 年間数十億円も節約

水谷出納長らが談合したトンネル工事の入札があったのは、前回知事選挙直後の04年11月でした。

この年に和歌山県が発注した予定価格1億円以上の工事(県土整備部発注)は69件で、平均落札率は96%、談合が疑われる落札率90%以上の入札が62件と全体の90%もしています。

ところが、大手ゼネコンが世論の批判のなかで、談合決別宣言(昨年末)をおこなった後の今年4月以降(10月まで)では、平均落札率は77%で、落札率90%以上は37件中12件。ゼネコンによる談合がなく、落札率が80%であれば、04年では35億円、昨年でも30億円を節約できたこととなります。

予定価格が1億円以上の工事入札結果(県土整備部のみ)

年度	件数	予定価格総額	落札価格総額	※節約できた金額
04年	69	22,598,921	21,588,064	3,556,579
05年	62	24,750,683	22,402,061	3,087,179
06年	40	11,454,382	8,866,842	549,393

06年は10月27日まで。(単位:千円)
※落札率80%を超えたものが、80%であれば節約できた金額。80%未満を除いて計算。

県民の福祉充実の願いは 拒否し、お年寄りから

5億円も県民税の増税

県は、障害者の負担軽減を求める願いなどに「県には金がないから」と拒み続けています。今年から大幅に増えたお年寄りの住民税は、県民税だけで、今年度5億円も高齢者の負担が増やされました。それなのに、出納長が高値落札の談合にかかわっていたのですから、県民から怒りの声が県庁に殺到するのも当然です。

「金がない」と福祉の願いを拒否しながら...

県庁のトップが談合! ゆるせません

県民のくらし、福祉を守る県政に

日本共産党県議団

和歌山市小松原通り1 県庁内 電話 073-425-1138 FAX 425-1143